

# 中とのやま



富士見台中学校HP

【学校教育目標】生き抜く力を身につけ、自ら輝く生徒の育成

【目指す生徒像】自立のために自律できる生徒

「1学期」と「2学期」は大きく違う

～1・2年生は学校を動かす、3年生は自らの進路に向けて～

校長 後藤 輝 明

本日の始業式で生徒に話した内容の一部を以下に掲載します。

(前略) さて、今日からおよそ4か月にわたる2学期が始まります。この期間は、「実りの秋」という言葉の通り、季節の移ろいとともには皆さんの心身が飛躍的に成長する時期です。

3年生は、進路について自分で選択し、目標に向かって挑戦していく時期です。部活動や委員会など、大きな役職や役割から解放された皆さんは、放課後に自分で自由に使える時間が増えます。その増えた時間は、進路について考えを深めたり、学習に費やしたりして目標に向かって自らを高めていきましょう。

2年生は部活動で3年生の後を受けて、中心として活動していきます。さらに10月には生徒会を引き継いで、富士見台中学校を背負って立つ学年になります。富士見台中学校のよき伝統を引き継ぎ、発展させる活躍を期待しています。

1年生は中学校生活にも慣れ、中学生にふさわしい力をつける大事な2学期です。部活動や委員会において、責任ある役割を担うこともあるかもしれません。一人一人が目標を掲げ、到達するよう努力していくよう心がけましょう。(以下略)

中学校の1学期と2学期には大きな違いがあります。

1学期はあらゆる場面において、3年生がリーダーとして学校を引っ張ってきました。しかし、2学期になると3年生は部活動を引退し、10月の生徒会役員選挙により事実上生徒会本部からも身を引くこととなります。また、各専門委員会の委員長も2年生が務めることになり、生徒会活動全般についても3年生は一線を退くこととなります。したがって、生徒会活動や部活動などは2年生がトップとなり、1・2年生が主体となって動かしていくこととなります。

保護者の皆様にとっては「入学して間もない」あるいは「まだ1年ちょっとしか経っていない」と思われるかもしれませんが、2学期からは1・2年生が富士見台中を動かしていくこととなります。特に、2年生の保護者の方は、お子さんが様々な経験を重ねる中で、その内面的な成長に驚くことが多くなるはずです。

ただし、成長と同時に人間関係は複雑化したり、責任ある役割を果たさなければならなかったりして、これまでとは違った悩みも出てくることもあります。

**辛い時は辛いことを、苦しい時は苦しいことを苦しみ抜けば、  
違う地平が見えてくる。**

書家 金澤 泰子

お子さんは、一生懸命取り組むがゆえに、時に辛く苦しいこともあると思います。しかし、それもまたお子さんの成長のためには必要なことと、保護者の皆様には、お子さんの成長をあたたく見守るとともに、困った時には寄り添ってゆっくりと話を聞いてあげてください。子どもにとって、家庭が安心・安全な場所であれば、外の世界で頑張ることができます。ぜひ、家庭がお子さんの「セーフティネット」となるようお願いいたします。

さて、3年生は大きな役職・役割から解放され、特に放課後の活動時間が大幅に増えてきます。保護者の立場からすると、その時間を、お子さんが進路決定や学習など有効に活用するかご心配もあるかと思います。

学校では、10月上旬に中間テスト、9月・10月それぞれに3年生対象の入間東部学力テスト、10月下旬には三者面談を実施するなど多くの機会を与え、自分の進路について考える指導をしていきます。それらを通して、3年生一人一人が中学卒業後の進路や、そのために必要な学習内容などについて真剣に向き合うこととなります。

ご家庭において3年生の子どもたちは、進路について考えたり一生懸命学習に取り組んだりするはずですが、保護者の皆様は、そのような姿を認めて褒めて励ましてください。

また、「卒業後の進路によって自分の人生は決まる」と重く考えていることもあるかもしれませんが、進路について悩んでいる場合には、その悩みに共感しつつ、共に悩んでください。また、努力しても思うような結果が出ないときは、学習方法について一緒に考えてください。いつもどんなときも、「保護者は子どもの最強の味方」でいてください。

末筆になりますが、2学期も富士見台中学校の教育活動に御理解御協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 夏の軌跡～大会等結果

### ■ 関東大会

新体操 竹田 美ら② 個人 13位

水泳 板山 桃花① 200m自由形予選 16位、400m自由形予選 11位

柔道部 -55kg級 茶谷 太河③初戦惜敗 -60kg級 葛西 颯次朗③2回戦惜敗  
90kg超級 吉本 大輝③2回戦惜敗

### ■ 学校総合体育大会県大会結果

水泳 板山 桃花① 200m自由形7位、400m自由形7位 **関東大会出場**

柔道部 団体 ベスト8

個人 -55kg級 茶谷 太河③3位 **関東大会出場**

-60kg級 葛西 颯次朗③2位 **関東大会出場**

90kg超級 吉本 大輝③2位 **関東大会出場**

陸上競技部 砲丸投6位 小澤 瑠海斗③

野球部 1回戦惜敗 (対 与野東中 0-13)

ソフトボール部 2回戦惜敗 (対 上平中 10-0、対 大相模中 5-9)

サッカー部 2回戦惜敗 (対 大原中 2-1、対 西武台新座中 0-5)

女子バレーボール部 2回戦惜敗 (対 尾間木中 2-1、対 深谷豊里中 0-2)

卓球部 団体 2回戦惜敗

### ■ 第64回埼玉県吹奏楽コンクール

地区大会 吹奏楽部 金賞

※丸数字は学年

※県大会個人戦については、

関東出場・ベスト8以上を掲載

